|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名称：大阪府立青少年海洋センターファミリー棟 | 指定管理者：ソーシャルリゾートみさき | 指定期間：令和４年４月１日～令和９年３月３１日 | 施設所管課：福祉部 子ども家庭局 子ども青少年課 |

※項目ごとの評価欄の括弧内は前年度の評価　※評価内容の網掛部分は前年度からの変更箇所

資料キ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価基準 | 指定管理者の自己評価 |  | 施設所管課の評価 |  | 評価委員会の指摘・提言 |
| 項目ごとの評価Ｓ～Ｃ | 項目ごとの評価Ｓ～Ｃ |
| Ⅰ．提案の履行状況に関する項目 |
| （１）施設を管理運営する基本方針 | ○青少年をはじめとする府民に自然と親しむ健康で文化的なレクリエーション活動の場を提供し、青少年の健全育成及び府民の海洋レクリエーション活動の促進を図るという施設の目的に沿った運営がなされているか | **１．提案した管理運営方針に沿った取組み****①青少年の健全育成の促進**　*※休館時評価対象外*(1)自然環境を活かした各種自主事業の実施**②地元岬町や町内関係団体等との連携及び魅力発信　★**(1)地元岬町や町内関係団体等との連携・岬町観光協会と連携した『リアル脱出ゲーム』の開催（8～9月）※岬町観光協会より情報新聞の提供と、フライヤー設置（資料1参照）・岬町商工会青年部主催クリスマスイベントへのボランティア参加(2)地元岬町の魅力発信　★・リアル脱出ゲーム『海風館からの脱出』開催（8月13日～9月23日）計14組（81名参加）※岬町在住者：26名・岬町外在住者55名【詳細】岬町観光協会発行の岬町情報新聞に記載されている、ファミリー棟内各所に隠された岬町観光スポットにちなんだ謎を解き、ファミリー棟からの脱出を目指すリアル脱出ゲーム『海風館からの脱出』を実施。脱出ゲームに参加する為に、初めて岬町を訪れた参加者も多く見られ、脱出ゲームの謎となった町内観光スポットに実際に訪れて頂くことができた。また、ファミリー棟内各所（B1：多目的ルーム、1F：レストラン、2F：205号室、3F：305号室、4F：男性展望浴場）を回ることで、ファミリー棟のロケーションを参加者に感じてもらうことができ、営業再開向けてのプロモーションとなった。 | **Ｂ**(-) | 青少年をはじめとする府民に自然と親しむ健康で文化的なレクリエーション活動の場を提供という施設設置の趣旨を理解し、開館できていない状況の中ででき得る取組みを実施している。 | **Ｂ**(-) |  |
| （２）公平・平等な利用を図るための具体的手法・効果 | ○公の施設であることを踏まえ、公平・平等利用が図られているか | **１．公平・平等利用を確保するための基本方針**　*※休館時評価対象外***①職員の人権研修等の実施****２．高齢者、障がい者等に対する配慮**　*※休館時評価対象外***①ユニバーサルデザインの視点に立った施設づくり** | **-**(-) |  | **-**(-) |  |
| （３）利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | ○目標年間来館者数の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか | **１．利用者の増加を図るための具体的な取組み**　*※休館時評価対象外***①年間目標来館者数・実績状況**(1)宿泊部門

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 計画 | 実績(見込) | 計画との差 | 達成率 | 前年同期実績 | 対前年同期比 |
| R4年度 | 0 | - | - | - | - | - |
| R5年度 | 3,626 |  |  | % |  | % |
| R6年度 | 5,860 |  |  | % |  | % |
| R7年度 | 6,786 |  |  | % |  | % |
| R8年度 | 6,888 |  |  | % |  | % |

(2)飲食部門（宿泊者以外レストラン利用）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 計画 | 実績(見込) | 計画との差 | 達成率 | 前年同期実績 | 対前年同期比 |
| R4年度 | 0 | - | - | - | - | - |
| R5年度 | 0 | - | - | - | - | - |
| R6年度 | 1,543 |  |  | % |  | % |
| R7年度 | 1,800 |  |  | % |  | % |
| R8年度 | 1,690 |  |  | % |  | % |

**②利用者の増加を図るための方策**(1)町内関係団体と連携した各種イベントの開催(2)駐車場スペースを活用したグランピング施設の設置(3)障がい者家族が利用しやすいリゾート施設としての運営(4)企業研修の誘致(5)閑散期における利用促進に向けた取組み(6)町外からの利用促進に向けた取組み | **-**(-) |  | **-**(-) |  |
| （４）サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | ○利用者サービスの向上を図るための取組みが適切に実施されているか | **１．サービスの向上を図るための具体的な取組み**　*※休館時評価対象外***①サービスの向上のための取組み**(1)自然環境を活かしたアクティビティの提供(2)地元食材を使用した料理の提供 | **-**(-) |  | **-**(-) |  |
| （５）管理運営業務実施計画の実施状況 | ○施設管理運営の基本方針を達成するため具体的な取組みが適切に実施されているか | **１．施設管理運営の基本方針を達成するための具体的な取組み****①個人情報の厳重管理　★**・リアル脱出ゲーム参加者の個人情報は、データ情報は各ファイルにパスワード設定をした上で、ID・パスワードを付与された者しかログイン不可なグループウェアにて管理。紙情報は、法人本部にて鍵付きロッカー内で管理実施。**②職員の接客マナーや人権意識の向上を図るための研修等の実施**　*※休館時評価対象外***③地元岬町や町内関係団体との連携及び魅力あるサービスの開発　★**・任意団体「ええん会」とのファミリー棟営業再開後のツアー企画会議実施・k.m.p.t（岬サイクリングクラブ・地域食堂・岬の酒場主催団体）とのファミリー棟営業再開後の連携模索会議実施

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日程 | 所属 | 内容 |
| R4.10.24 | ええん会 | ・海風館開業後のツアー企画趣旨説明・既存町内資源のうち、ツアー化可能なコンテンツを有している団体の紹介＊ヨットハーバー花火＊地域食堂（各種イベント）＊淡輪村のゆる風（寄席開催）＊三号切り絵会（切り絵教室開催）＊スナフキン（ライブ）・その他町づくり活動を行っている人・拠点の紹介＊キートス（元地域おこし協力隊員が経営するカフェ）＊ひろしげ珈琲＊岬町キーマンが集う場所＊早川氏（k.m.p.t）＊キノピオ（空き家を再生しカフェ経営）＊喫茶ロータリー |
| R4.12.12 | 喫茶ロータリー | ・海風館開業後のツアー企画趣旨説明・今後イベント開催等の協力依頼※リアル脱出ゲーム開催時にフライヤー設置・SNS発信協力をしてもらっている。 |
|  | ポン菓子屋 | ・海風館開業後のツアー企画趣旨説明・外国人向けイベント（海風館でのポン菓子製造イベント等）開催の提案実施 |
| R4.12.19 | k.m.p.t | ・海風館開業後のツアー企画趣旨説明・現在の取組みに関しての説明を受ける。現在企画中のイベント等を共催で実施できないかの打診と運営スタッフとしてRe-Liveインターンが入る提案実施・岬町の魅力の再確認＊瓦 |

**④利用者ニーズと満足度の把握（利用者アンケートの実施等）**　*※休館時評価対象外***⑤経費削減等による安定した管理運営の継続　★**・管理業務は全てRe-Liveが運営する障害者就労支援事業所いにしきで実施する事で、人件費削減を実施した。**⑥来館者の安全確保対策**　*※休館時評価対象外*(1)火災関係・火災報知器及び消火器の定期的なメンテナンス・避難訓練の実施・火気のある場所への定期的な見回り(2)地震・津波関係・災害用品（非常食、水、衛生グッズ）の備蓄・避難誘導訓練の実施・一時避難者受入マニュアルの整備及び周知 | **Ｂ**(-) | 最低限の人員で人件費を削減しながら管理運営を行うとともに、運営開始に向け町内関係団体との連携を模索するなどの取組みに努めている。 | **Ｂ**(-) | 当初の事業計画ではグランピングやトレーラーハウスでのキャンプなどの提案もあったが、泉南市や貝塚市、予定ではみさき公園跡地などの周辺地域にも、新しいグランピング施設が続々とできている。今後、コロナ禍が終息したとき、当初計画どおりに運営できるか、経営状況がどのようになっていくか、不安材料もあるが、色々な企画・実施に期待したい。 |
| （６）自主事業計画の実施状況 | ○自主事業の企画・実施が計画的かつ適切に実施されているか | **１．自主事業の取組み**　*※休館時評価対象外***①駐車場スペースを活用したグランピング施設の設置****②観光資源を活かした各種パッケージの提供****③企業研修の誘致** | **-**(-) |  | **-**(-) |  |
| （７）施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度 | ○維持管理の役割分担に基づき、施設、設備、備品等の安全管理・安全対策が適切に実施されているか○維持管理の役割分担に基づき、施設、設備、備品等の改修・修繕・更新が効率的、計画的かつ適切に実施されているか | **１．施設・設備の改修・整備及び購入について**　*※休館時評価対象外***①大浴場ジャグジー補修の実施****２．施設の維持管理について****①施設・設備の日常管理（清掃含む）及び保守点検　★**(1)管理清掃の実施　★・施設内全室の換気を実施4～5月・10～12月は2回/週、3時間程度/回、6～9月は3回/週、5時間程度/回・駐車場除草清掃作業を実施1回/月・館内清掃作業実施2回/月（全フロア）・敷地内樹木伐採近隣住民から依頼のあった南側法面の樹木伐採作業を実施。(2)関係法令を遵守した保守点検の実施　*※休館時評価対象外* | **Ｂ**(-) | 限られた人員しか確保できない中でも、定期的な管理清掃を実施し、近隣住民の対応にも努めている。 | **Ｂ**(-) |  |
| （８）管理運営経費縮減方策 | ○管理運営費の縮減方策が提案どおり実施されているか | *※評価対象外* |  |  |  |  |
| （９）府施策との整合 | ○府が実施する事業等への協力の取組みが適切に実施されたか | **１．府実施事業への協力の取組み**　*※休館時評価対象外***①「障がい者雇用に向けた企業の取組促進事業」のモデル事業としての実施****２．府民・NPO法人との協働の取組み****①ボランティア・NPO法人等との協働事業の実施**　*※休館時評価対象外*(1)ボランティアやNPO法人、町民と協同で行う自然環境を活かした各種体験イベントの実施**②施設運営やサービス向上、事業企画等に府民・NPO等が参画できる機会確保の取組み　★**(1)町内関係団体との連携強化　★・ファミリー棟営業再開後に各関係団体と連携してのツアー開催に向けて、インターン（大学院生1名・大学生1名）を受け入れ、各団体実施イベントへのボランティア参加、連携したツアー開催に向けた打合せを実施した。【ボランティア参加イベント】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程 | イベント | 役割 | 参加者 |
| R4.11.9 | ええん会 | 運営スタッフ | インターン |
| R4.12.1~12.10 | みさきの光宴2022 | イベント準備スタッフ | 法人理事 |
| R4.12.10・12.11 | みさきの光宴2022 | 当日運営スタッフ | インターン |

【企画中ツアー】＊大阪湾クルージングツアー＊釣りツアー＊岬の歴史散策ツアー＊熊野古道ツアー＊大阪唯一の自然海浜で磯観察ツアー＊古代米田植え・収穫ツアー＊ホタル観察ツアー＊リアル脱出ゲームツアー＊花火大会ツアー＊日本の文化体験ツアー・岬町地域おこし協力隊実施のみさきおこしチャンネルへの出演。 | **Ｂ**(-) | 限られた人員しか確保できない中でも、運営開始に向け町内関係団体との連携を模索するなどの取組みに努めている。 | **Ｂ**(-) |  |
| Ⅱ．さらなるサービスの向上に関する事項 |
| （１）利用者満足度調査等 | ○アンケート等による利用者の意見の把握、調査結果のフィードバックが適切になされているか | **１．利用者満足度調査**　*※休館時評価対象外***①アンケート回収率**（令和●年11月30日現在）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 |
| 利用団体数 | 団体 | 団体 | 団体 | 団体 |
|  | 日帰り | 団体 | 団体 | 団体 | 団体 |
| 宿泊 | 団体 | 団体 | 団体 | 団体 |
| 回収数 | 件 | 件 | 件 | 件 |
|  | 日帰り | 件 | 件 | 件 | 件 |
| 宿泊 | 件 | 件 | 件 | 件 |
| 回収率 | % | % | % | % |
|  | 日帰り | % | % | % | % |
| 宿泊 | % | % | % | % |

**②アンケート集計結果**（令和●年11月30日現在）(1)宿泊利用

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 評価 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R7年度 |
| 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) | 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) | 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) | 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) |
| 【未設定】 | 大変満足 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 満足 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 普通 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 不満 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 大変不満 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※％は、各項目の未回答も含めて算出。 |

(2)飲食利用（宿泊者以外）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 評価 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R7年度 |
| 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) | 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) | 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) | 件数(件) | 割合(%) | 回答率(%) |
| 【未設定】 | 大変満足 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 満足 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 普通 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 不満 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 大変不満 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※％は、各項目の未回答も含めて算出。 |

**③主な意見**(1)プラス評価(2)マイナス評価(3)その他**２．調査結果のフィードバック**　*※休館時評価対象外***① 当年度に改善した点****② 次年度に改善する点** | **-**(-) |  | **-**(-) |  |
| （２）その他創意工夫 | ○その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫がなされているか | **１．自主事業における創意工夫の取組み**　*※休館時評価対象外***２．その他創意工夫の取組み**　*※休館時評価対象外* | **-**(-) |  | **-**(-) |  |
| Ⅲ．適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目 |
| （１）収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | ○事業収支計画の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか | **１．事業収支計画・実績状況（資料3参照）**（令和4年11月30日現在）　★

|  |
| --- |
| （単位:千円） |
|  |  | 計画 | 実績(見込) | 計画との差 | 達成率 | 前年同期実績 | 対前年同期比 |
| R4年度 | 収　入 | 0 | 56 | 56 | - | - | - |
|  | 利用料金等 | 0 | 0 | 0 | - | - | - |
|  | その他収入 | 0 | 56 | 56 | - | - | - |
| 支　出 | 1,382 | 1,420 | 38 | 97.3% | - | - |
| 損　益 | △1,382 | △1,364 | 18 | 計算不可 | - | - |
| R5年度 | 収　入 | 47,664 |  |  | % |  | % |
|  | 利用料金等 | 12,584 |  |  | % |  | % |
|  | その他収入 | 35,080 |  |  | % |  | % |
| 支　出 | 63,249 |  |  | % |  | % |
| 損　益 | △15,585 |  |  | % |  | % |
| R6年度 | 収　入 | 81,583 |  |  | % |  | % |
|  | 利用料金等 | 16,896 |  |  | % |  | % |
|  | その他収入 | 64,687 |  |  | % |  | % |
| 支　出 | 74,473 |  |  | % |  | % |
| 損　益 | 7,110 |  |  | % |  | % |
| R7年度 | 収　入 | 93,826 |  |  | % |  | % |
|  | 利用料金等 | 20,350 |  |  | % |  | % |
|  | その他収入 | 73,476 |  |  | % |  | % |
| 支　出 | 83,918 |  |  | % |  | % |
| 損　益 | 9,908 |  |  | % |  | % |
| R8年度 | 収　入 | 95,364 |  |  | % |  | % |
|  | 利用料金等 | 20,460 |  |  | % |  | % |
|  | その他収入 | 74,904 |  |  | % |  | % |
| 支　出 | 91,770 |  |  | % |  | % |
| 損　益 | 3,594 |  |  | % |  | % |
| ※千円未満切捨てしているため、内訳と合計が一致しない場合あり。 |

 | **Ｃ**(-) | 開館できていない状況を有効活用してリアル脱出ゲームを開催し、最低限の人員で人件費を削減しながら管理清掃を行うなど、現在でき得る取組みを実施し、収支計画の達成に努められている。 | **Ｂ**(-) |  |
| （２）安定的な運営が可能となる人的能力 | ○各部門に必要な人員が適切に配置されているか○職員の採用、確保が適切に実施されているか○職員の指導育成、研修が適切に実施されているか○職員の勤務形態、勤務条件が適正に確保されているか | **１．管理体制****①職員体制及び配置　★**・今年度は営業していないため、ファミリー棟管理は全てNPO法人Re-Live理事長が担い、都度、Re-Live職員へ指示を行うことで実施している。**②管理監督体制・責任体制　★**・管理監督に関しては、Re-Live理事長が担い（鍵の管理・施設点検等）実施した。また、大阪府との連絡調整窓口も理事長が担い実施した。**２．従業員採用、確保の方策**　*※休館時評価対象外***①職員の継続雇用及び人材の登用****３．従業員の指導育成、研修体制**　*※休館時評価対象外***①研修**(1)人権教育(2)安全教育(3)全体研修（年1回）**４．職員配置計画**　*※休館時評価対象外*

|  |
| --- |
| (単位:名) |
| 業務内容 | 雇用形態 | 配置人数 | R4年度人数 | R5年度人数 | R6年度人数 | R7年度人数 | R8年度人数 |
| 支配人 | 常勤 | 1 | - |  |  |  |  |
| ﾌﾛｱ管理･ﾏﾈｰｼﾞｬｰ 2名･客室清掃 4名 | 常勤 | 2 | - |  |  |  |  |
| 非常勤・ﾊﾟｰﾄ | 4 | - |  |  |  |  |
| その他(就労B) | 0 | - |  |  |  |  |
| 施設管理･ﾏﾈｰｼﾞｬｰ 1名･施設維持管理ｽﾀｯﾌ 4名 | 常勤 | 1 | - |  |  |  |  |
| 非常勤・ﾊﾟｰﾄ | 8 | - |  |  |  |  |
| その他(就労B) | 0 | - |  |  |  |  |
| ﾚｽﾄﾗﾝ運営･料理長 1名･ﾚｽﾄﾗﾝｽﾀｯﾌ 8名 | 常勤 | 1 | - |  |  |  |  |
| 非常勤・ﾊﾟｰﾄ | 8 | - |  |  |  |  |
| その他(就労B) | 0 | - |  |  |  |  |
| 計 | 常勤 | 5 | - |  |  |  |  |
| 非常勤・ﾊﾟｰﾄ | 20 | - |  |  |  |  |
| その他(就労B) | 0 | - |  |  |  |  |

**５．業務外注計画・実績****①ボイラー・電気関係　★**・ボイラー：外注先未決定・電気関係：関西電気保安協会と1月契約予定**②定期点検（空調、ガス等） ★**・ビケンテクノ株式会社・ダイキンテクノ株式会社に見積り実施。**③消防設備管理　★**・ビケンテクノ株式会社・ダイキンテクノ株式会社に見積り実施。 | **Ｃ**(-) | 開館できていない状況の中で、必要最低限の管理体制を敷かれている。ただし、Re-Live理事長が調整等を一手に担い対応しているが、来年度の開館・運営に向けては多岐に渡る調整等が必要となるため、早期の体制確保、事務分担の見直しを図られたい。 | **Ｂ**(-) | Ⅰ-（５）に記載のとおり。 |
| （３）安定的な運営が可能となる財政的基盤 | ○施設運営管理者として、適切な財務状況が確保されているか | **１．法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤　★**・経営規模：資料4～7参照・組織規模NPO法人Re-Live：従業員13名㈱ステイザファクトリー：従業員1名**２．指定管理者を構成する２法人の事業内容　★**・NPO法人Re-Live町づくり事業、障害福祉事業・㈱ステイザファクトリー宿泊施設運営・不動産事業 | **Ｂ**(-) | 指定管理者を構成する2法人の財務状況について、今年度、ファミリー棟を開館できなかったことによる影響が懸念される。コロナ禍の影響は未だ続いており、加えて物価高騰等の不安材料もある中、今後、いかに適切な財務状況を確保しながらファミリー棟を運営されていくのか、具体的な計画の提示に期待したい。 | **Ｂ**(-) | Ⅰ-（５）に記載のとおり。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＜評価集計表＞ | 指…指定管理者の自己評価　　施…施設所管課の評価 | ＜評価基準＞ |
| 評価項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | ●項目ごとの評価Ｓ（計画を上回る優良な実施状況）Ａ（計画どおりの良好な実施状況）Ｂ（計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況）Ｃ（改善を要する実施状況）●年度評価Ｓ（項目ごとの評価のうちＳが５割以上で、Ｂ・Ｃがない。）Ａ（項目ごとの評価のうちＢが２割未満で、Ｃがない。）Ｂ（Ｓ・Ａ・Ｃ以外）Ｃ（項目ごとの評価のうちＣが２割以上。又は、Ｃが２割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合。）●総合評価及び最終評価Ⅰ（評価対象となる年度の年度評価のうちＳが５割以上で、Ｂ・Ｃがない。）Ⅱ（評価対象となる年度の年度評価のうちＢが３割未満で、Ｃがない。）Ⅲ（Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ以外）Ⅳ（評価対象となる年度の年度評価のうちＣが５割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く。） |
| 指 | 施 | 指 | 施 | 指 | 施 | 指 | 施 | 指 | 施 |
| Ⅰ．提案の履行状況に関する項目 |
| （１）施設を管理運営する基本方針 | Ｂ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）公平・平等な利用を図るための具体的手法・効果 | - | - |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３）利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | - | - |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４）サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | - | - |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５）管理運営業務実施計画の実施状況 | Ｂ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （６）自主事業計画の実施状況 | - | - |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （７）施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度 | Ｂ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （８）管理運営経費縮減方策 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （９）府施策との整合 | Ｂ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| Ⅱ．さらなるサービスの向上に関する事項 |
| （１）利用者満足度調査等 | - | - |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）その他創意工夫 | - | - |  |  |  |  |  |  |  |  |
| Ⅲ．適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目 |
| （１）収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | Ｃ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）安定的な運営が可能となる人的能力 | Ｃ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３）安定的な運営が可能となる財政的基盤 | Ｂ | Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 集計結果 |
| 項目ごとの評価〈令和4年度…全7項目〉 | Ｓ | (０) | ０ 0% | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % |
| Ａ | (０) | ０ 0% | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % |
| Ｂ | (５) | ７100% | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % |
| Ｃ | (２) | ０0% | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % | (　) |  % |
| 年度評価 | Ｂ |  |  |  |  |
| **総合評価・最終評価** |  |